

（仮称）善通寺市立こども園整備基本計画
（案）

令和8年 10 月

善通寺市

目 次

1	基本計画策定の背景と目的	1
2	基本計画の位置づけ	1
3	前提条件の整理	
(1)	未就学児数の推移と推計	2
(2)	竜川幼稚園・竜川保育所の概要	3
(3)	計画地について	4
(4)	水路（満濃幹線）移設の検討	5
4	施設の整備	
(1)	施設整備における基本方針	8
(2)	定員数の設定	9
(3)	施設規模の想定	10
(4)	施設の配置計画	11
5	概算工事費	12
6	事業スケジュール	12

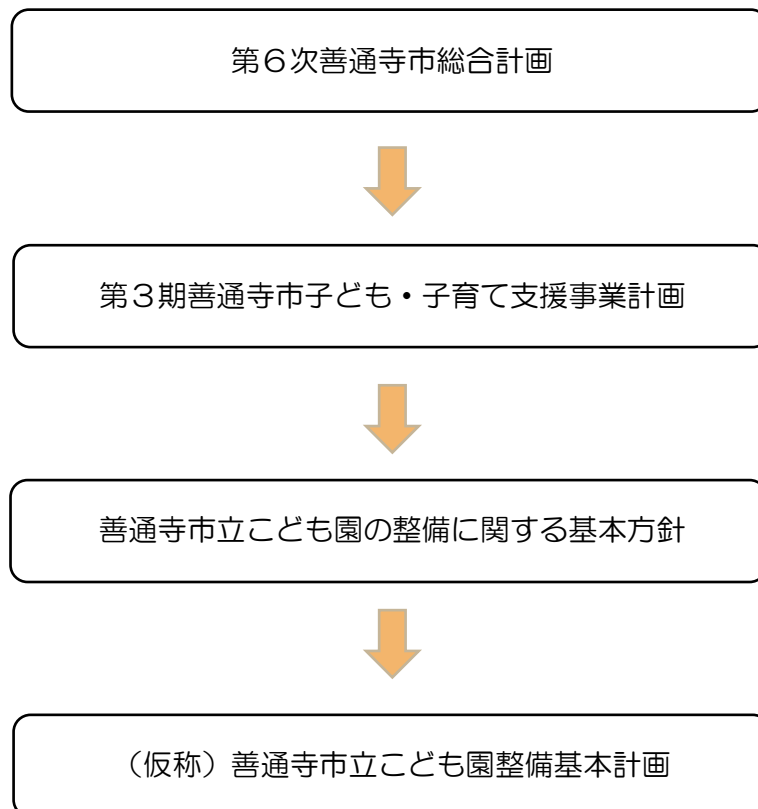
1 基本計画策定の背景と目的

本計画は、急速な少子化の進行や施設の老朽化という課題に対応し、子どもたちに質の高い就学前教育・保育を提供するための施設環境を整えること、また、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化によるニーズの変化を踏まえ、保護者が安心して子育てができる環境づくりや、将来的な子育てニーズの変化も視野に入れ、「普通寺市立こども園の整備に関する基本方針」に基づき、1園目の公立こども園を整備することを目的として策定するものです。

2 基本計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「第6次普通寺市総合計画」を踏まえ、「第3期普通寺市子ども・子育て支援事業計画」及び「普通寺市立こども園の整備に関する基本方針」を上位計画として位置づけ、その理念や方針に沿って策定するものです。

また、策定にあたっては、「公立こども園整備に関するアンケート調査の結果（令和7年10月実施）」や、「学校等再編整備検討結果報告書（令和8年8月）」の内容を十分に踏まえ、実態に即した計画とします。



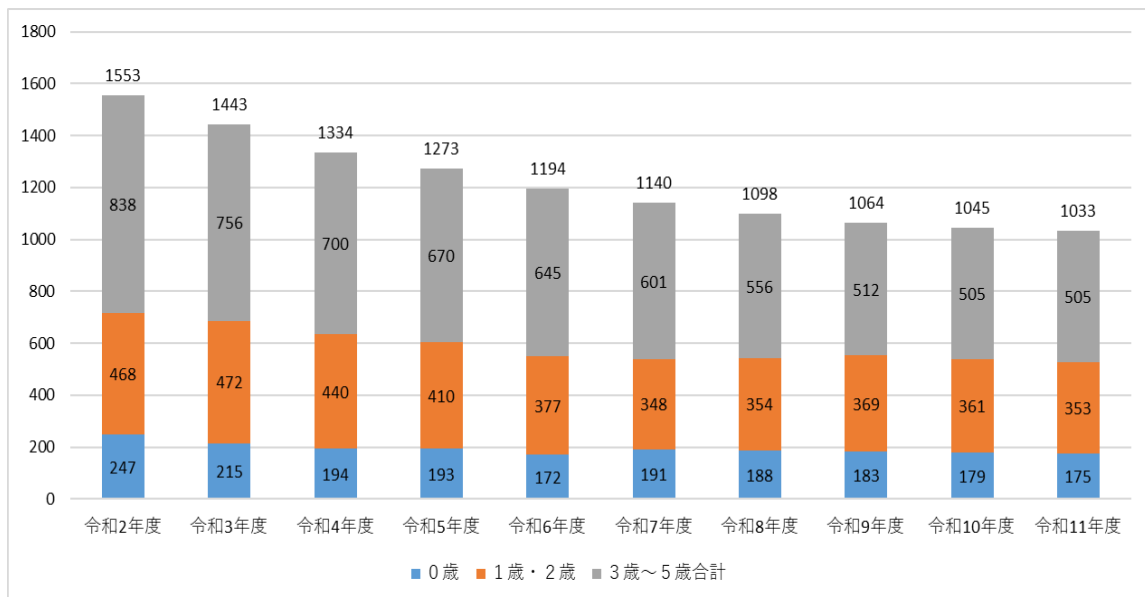
3 前提条件の整理

(1) 未就学児数の推移と推計

少子化と人口減少が進む中、各園の園児数は今後減っていくことが予想されます。そのため、集団での保育・教育を通じて育むべき社会性や多様性をどう確保し、適正な規模を維持していくかが課題となっています。

■未就学児数の推移と推計

(単位：人)



第3期普通寺市子ども・子育て支援事業計画より

■公立幼稚園・保育所の園児数（令和8年9月1日現在）

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
中央幼稚園				11	6	15	32
東部幼稚園				15	21	15	51
西部幼稚園				6	3	5	14
南部幼稚園				8	9	11	28
竜川幼稚園				39	34	41	114
与北幼稚園				—	—	—	—
筆岡幼稚園				7	12	19	38
吉原幼稚園				3	5	7	15
普通寺保育所	9	14	16	10	9	6	64
竜川保育所	7	30	23	0	0	0	60
合計	16	44	39	99	99	119	416

（２）竜川幼稚園・竜川保育所の概要

前述の通り、少子化の進行により各園の園児数の減少が課題となる中、本市では持続可能な教育・保育環境の構築を目指し、公立こども園を２園整備する方針としました。この公立こども園２園整備のうち、まず１園目については、竜川小学校東側の市有地を整備先として選定し、事業を進めることとしました。なお、この地を選定した理由については、後で改めて詳述します。

１園目の整備に伴い、対象となる地域において就学前教育・保育を担っている竜川幼稚園及び竜川保育所については、いずれも園舎の老朽化が進んでいることから、１園目の公立こども園の開園に合わせて閉園し、その機能をこども園に統合します。

施設名称	竜川幼稚園	竜川保育所
現況写真	 園舎	 園舎
建設年度	昭和 58 年度	昭和 58 年度
構 造	鉄筋コンクリート造２階建	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	4636 ㎡	
延床面積	788 ㎡	483 ㎡
駐車台数	約 35 台	

（３）計画地について

図の①～③で示す善通寺市立竜川小学校東側の用地は、学校用地として取得・保有している土地であり、現在は職員用駐車場や行事の際の駐車場等として利用しています。

当該用地は、約 10,500 m²の面積があり、園舎、園庭、駐車場を適切に配置できること、県道に接道しており車両のアクセスが良く利便性が高いこと、取得済みの市有地を有効活用できることを勘案し、最適な整備用地として選定しました。

なお、整備用地の中央には「満濃幹線」と呼ばれる水路があり、こども園整備に当たっては満濃幹線の移設を検討します。

所在地	香川県善通寺市原田町（善通寺市立竜川小学校東側）
面積	整備用地① 約 4500 m ² 整備用地② 約 3000 m ² 整備用地③ 約 3000 m ²



（４）水路（満濃幹線）移設の検討

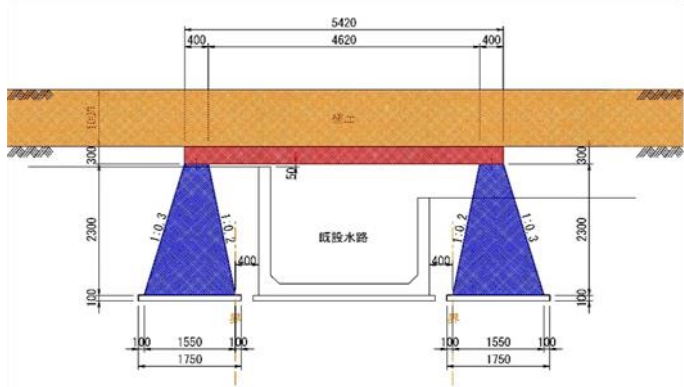
水路（満濃幹線）の取扱いについては、①蓋掛け（案）、②ボックスカルバート（案）、③移設（案）の３案を比較検討いたしました。

比較検討にあたっては、施工費、工期、維持管理の観点に加え、①蓋掛け（案）及び②ボックスカルバート（案）については、既設水路の上部に園舎を建築できないため施設が分断され、わたり廊下による長い動線や移動の負担が生じること、また将来の水路改修時に園舎の基礎への影響が懸念され、建物の安全性が担保できないことといった課題を踏まえて検討を行いました。

これらのことから、総合的な観点より③移設（案）を採用することといたします。
なお、移設（案）は、水路（満濃幹線）を用地東側に移設する案になります。

■水路（満濃幹線）蓋がけ・移設等比較検討表

①蓋がけ（案）

<div style="text-align: right;">単位：mm</div> 			<p>概要</p> <p>既設の水路（満濃幹線）に蓋をかけることにより上部の有効利用を図る。</p>
施 工 費	約 1 億 3690 万円		×
工 期	15 か月		×
維持管理	水路が暗渠化されるため定期的な点検、管理が必要となる。		×
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設水路（満濃幹線）の上には園舎が建てられないため園舎が水路によって分断される。そのため、わたり廊下で園舎をつなぐことになり施設動線が長く、移動の負担が大きい。 ・ 既設水路（満濃幹線）の改修が生じた場合、園舎の一部を壊したり、園舎の基礎に影響が生じるなど、建物の安全性が担保できない。 		×

②ボックスカルバート（案）

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>単位：m</p> </div> <div> <p>概要</p> <p>既設の水路（満濃幹線）をボックスカルバートとし上部の有効利用を図る。</p> </div> </div>		
施 工 費	約 1 億 630 万円	△
工 期	7か月	○
維持管理	水路が暗渠化されるため定期的な点検、管理が必要となる。	×
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 既設水路（満濃幹線）の上には園舎が建てられないため園舎が水路によって分断される。そのため、わたり廊下で園舎をつなぐことになり施設動線が長く、移動の負担が大きい。 既設水路（満濃幹線）の改修が生じた場合、園舎の一部を壊したり、園舎の基礎に影響が生じるなど、建物の安全性が担保できない。 	×

③移設（案）

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>単位：m</p> </div> <div> <p>概要</p> <p>既設の水路（満濃幹線）を用地東側に移設する。</p> <p>こども園の駐車場を整備する範囲は暗渠とし、それ以外は開渠とする。</p> </div> </div>		
施 工 費	約 9400 万円	○
工 期	9か月	△
維持管理	<p>開渠の部分の維持管理については通常に行える。</p> <p>暗渠の部分は定期的な点検、管理が必要となる。</p>	○
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 既設水路（満濃幹線）を東側に移設することにより園舎を建てやすくなる。 開渠部においては水量を目視できる。 	○

■善通寺市立こども園_満濃幹線移設案_S=1/600

県道18号 (善通寺府中線)

既存：地元用水路

移設後：満濃幹線

市道原田中五条五号線

既存：満濃幹線

竜川小学校

北

4 施設の整備

(1) 施設整備における基本方針

善通寺市立こども園の整備に関する基本方針により整備を進めます。なお、基本方針に定めた公立こども園整備の基本的な考え方は次のとおりです。

こども園の目標

笑顔いっぱい わくわくいっぱい 夢中になれる こども園

～人とのつながりを大切に～

こども園の施設コンセプト

①「生活の場」として、安全で安心感のある施設

- ・子どもたちの健康を大切にし、安定的に過ごせるよう、通風、採光等を考慮したぬくもりのある施設とする。
- ・子どもたち、職員のスムーズな動線が確保された施設とする。
- ・見通しをよくし、できる限り死角のない施設配置とする。
- ・火災及び自然災害（地震・豪雨）時の安全性を確保した施設とする。
- ・日常の送迎や来園における安全性と利便性に配慮した施設とする。

②「学びの場」として、好奇心や探求心を育む施設

- ・子どもたちが自ら考え、行動し、心も体も思い切り遊び込める施設とする。
- ・多様な教材を活用できる環境を備え、子どもたちの関心を広げられる施設とする。
- ・園庭の自然を通して、四季を感じ豊かな心を育むことができる施設とする。

③「子育て支援の場」として、人や家庭とつながる施設

- ・子どもたち、保護者同士、職員など多くの人がつながることができる施設とする。
- ・人との関わりを通して自分や人を大切に思う心を育むことができる施設とする。

④「長く愛される場」として、長期に渡り使え、維持管理しやすい施設

- ・職員の働きやすさにも配慮し、持続可能な保育・教育を支える施設とする。
- ・日常のメンテナンスを考慮し、維持管理しやすい施設とする。
- ・できる限りイニシャルコスト及びランニングコストの縮減に配慮した施設とする。

（２）定員数の設定

令和８年９月１日現在の幼稚園、保育所の園児数と、「第３期善通寺市子ども・子育て支援事業計画」における未就学児数の推移と推計を踏まえ、令和１１年度末の園児数を推計しました。この推計及び市内私立施設の協力を想定し、整備を予定する公立こども園２園のうち１園目については、１７０～１８０人程度の子どもたちを受け入れられる規模とします。ただし、定員については、今後の未就学児数の推移を踏まえて適正な数を検討します。なお、公立こども園は、市内全域から入園可能であるため、定員数の設定にあたっては、以下の推計を踏まえて検討します。

■令和１１年度末公立幼稚園・保育所の園児数推計

（単位：人）

	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	合計
中央幼稚園				１０	５	１４	２９
東部幼稚園				１４	１９	１４	４７
西部幼稚園				５	３	５	１３
南部幼稚園				７	８	１０	２５
竜川幼稚園				３５	３１	３７	１０３
与北幼稚園				—	—	—	—
筆岡幼稚園				６	１１	１７	３４
吉原幼稚園				３	５	６	１４
善通寺保育所	８	１４	１６	９	８	５	６０
竜川保育所	７	３０	２３	０	０	０	６０
合計	１５	４４	３９	８９	９０	１０８	３８５

（３）施設規模の想定

園児数の推計を基に、建築基準法、幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準等を踏まえ、諸室及び諸室面積を算定しますが、今後の検討において変更になる可能性があります。

なお、施設規模の想定にあたっては、子どもたちが思い切り遊び込めるだけでなく、将来的な保育室の増設、障がいを持つ児童や医療的ケア児の受入れ、子育て支援のスペースなどを視野に入れ、多目的に利用できる部屋も含め算定しています。

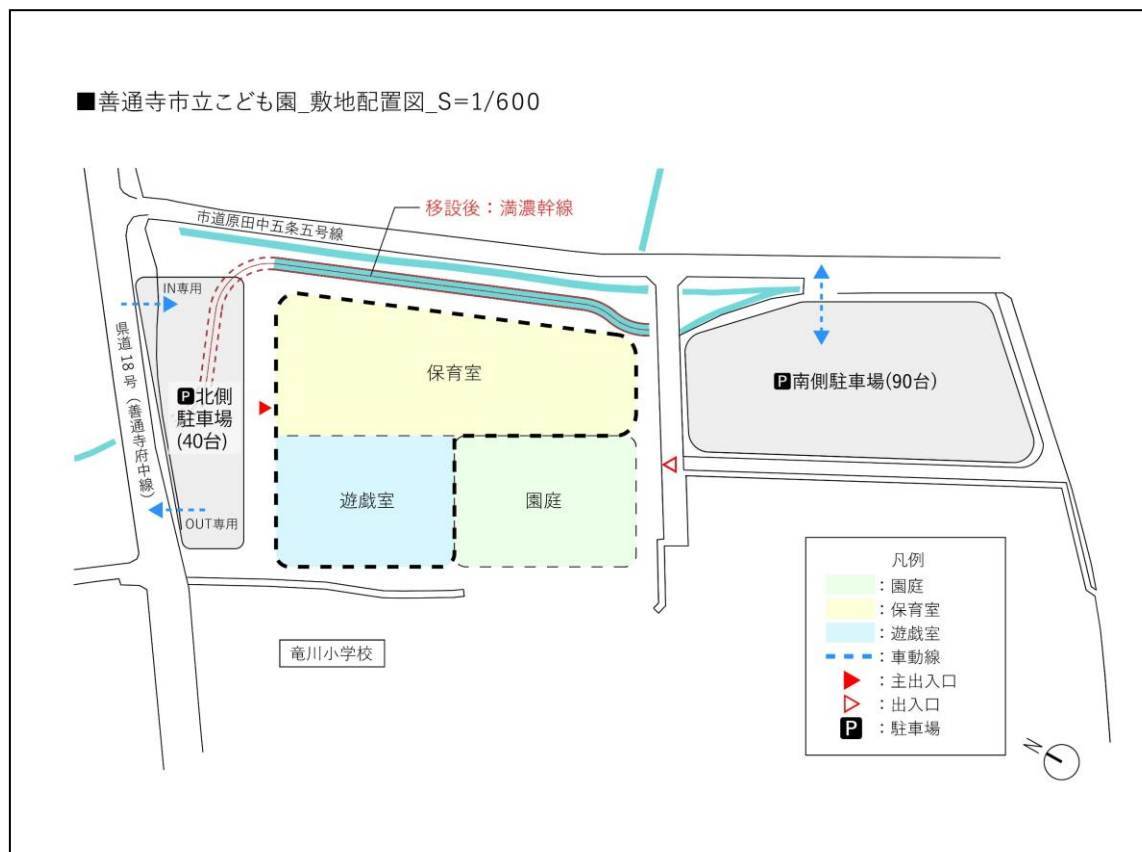
用途	面積（㎡）	根拠
保育室（０～２歳）	250	０歳：約 50 ㎡ １歳：約 100 ㎡ ２歳：約 50 ㎡×２、計 4 室
保育室（３～５歳）	300	各室約 50㎡×６、計 6 室
遊戯室	325	全園児対応、多機能利用
調理室	115	調理、配膳、食事
保健・衛生施設	200	保健室、トイレ、調乳室等
管理・職員施設	220	園長室、職員室等
多目的室	195	保育室、子育て支援等多機能利用
玄関・ホール・通路	440	来園者対応
デッキテラス	580	園児専用デッキ
倉庫・機械室等	290	教材保管、設備管理
合計	2,915	-

(4) 施設の配置計画

「こども園の施設コンセプト」を実現するため、以下の項目について検討し、後の設計において具体化します。なお、今後の検討において変更となる可能性があります
が、現時点での配置図（案）は以下のとおりです。

全体配置	園庭と保育室が連続し、屋外と屋内を一体的に利用できる保育環境とします。また、竜川小学校とスムーズに連携できる園舎配置とします。
建物の向き	西側に遊戯室、東側に保育室機能を配置し、南側に園庭を設けることで、西日や騒音などの問題に配慮しつつ、見通しの良い構成とします。
エントランスの配置	メインとなるエントランスは北側中央に配置して職員室と近接させ、送迎時の安全確認を容易にします。同時に、南側駐車場からのアクセスにも配慮し、南側からもスムーズに出入りできる動線を確保するなど、利用者の利便性を高めます。
車両動線	自動車送迎による集中が予想されるため、送迎用駐車場は北側に加えて南側の一部を活用して十分なスペースと円滑な動線を確保します。また、周辺の交通環境への配慮として、市道原田中五条五号線の拡幅工事についても順次検討・整備を進めます。

■こども園配置図（案）



5 概算工事費

過去の類似事例を参考に概算工事費を算出します。しかし、物価や人件費が上昇してきており、工事着手までに更なる上昇が見込まれます。

概算工事費 22億1,400万円

(内訳)

- ・水路移設工事費 9,400万円
- ・造成工事費 1億6,800万円
- ・建築工事費 19億5,200万円

※上記工事費の他、調理器具、家具の備品購入費等が必要となります。

6 事業スケジュール

1園目の公立こども園を整備し、開園するまでのスケジュールは概ね次のとおりであり、令和12年4月の開園を目指します。ただし、基本計画策定段階でのスケジュールであり、今後の基本設計・実施設計等で変更となる場合があります。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本計画					
基本設計					
実施設計					
水路移設・造成工事					
建築工事					
準備・引越					開 園

(仮称) 善通寺市立こども園整備基本計画

善通寺市 教育委員会 学校再編対策課

TEL 0877-63-6332

FAX 0877-63-6391

e-mail saihen@city.zentsuji.kagawa.jp

策定支援 有限会社藤岡総合設計
